

理想の道は遠くとも

1月11日(火)に3学期始業式が行われました。3人そろって元気に3学期のスタートを迎えることができました。

さて、9月号で秋の情景を表している校歌の3番の歌詞について触れましたが、この始業式の式辞では4番の歌詞について話しをしました。4番は冬の情景を表し、海を越えた遙か遠くに続く山陽地方の山々と、その頂に積もる雪を思いながら、自分の進むべき遠くて険しい人生という道に思いをはせた歌詞です。そして、その道を力強く歩いていく力を身につける覚悟を歌っています。3人の生徒たちも学校生活の学びの中で、たくましく生きる智慧と力を身につける毎日を送ってくれることを願っています。

四	三	二	一	真鍋中学校校歌
わが学び舎に通うなり	理想の道は遠くとも	遥かに望む真鍋校	山陽に積む峯の雪	若き生徒に穂りあり
真理の影を慕いつつ	月白金の波を寄せ	秋三更の夜はふけて	真鍋健児の意気高し	波の飛沫に鍛えたる
瀬みぞ嵐に夏と知り	水島灘を北にうけ	磯の香りに春が来て	若き希望の花は咲く	霞に明ける瀬戸の海
みどり色濃き真鍋島	作詞 久一 和彦	作曲 森 豊之		



令和4年
1月

12月10日に**高齢者宅訪問**を行いました。真鍋島在住の高齢者(本年度は90歳以上)の方のお宅に訪問させていただき、交流している行事です。

例年は、春に老人会の方々に手伝っていただいて植えた菊の花束を届けるのですが、今年は開花が遅く、間に合いませんでした。代わりに一輪挿しの花瓶に花壇の花を添えて渡すことにしました。花瓶は、理科室の棚の奥にしまってあった、使わなくなった試薬瓶をマスキングテープやリボンで飾り付けて作りました。もう一つ、手作りの額に木造校舎の写真を入



れて渡しました。材料は一昨年(2021年)の12月に強風ではがれてしまった校舎の壁板を使い、敷地内に落ちていたドングリや松かさ(マツノカサ)を飾り付けてみました。

交流では校舎の思い出や昔の話なども聞くことができ、生徒達にとっても楽しいひとときでした。菊の花が咲いたらあらためてお届けしたいと思っています。



12月23日の午後、**八幡神社**の清掃を行いました。参道の大量の落ち葉を掃き、石段の隙間から生えた雑草を抜き、箆をハサミで取り除きました。限られた時間であったため、やり残した箇所もありましたが、まなべ祭で発表したように地域に昔からあるものを大切に残したいという思いを持ちながら作業しました。正月に島に帰ってこられる方々に、気持ちよく参拝していただけたならうれしいです。



新型コロナウイルスの新たな変異株による感染拡大が懸念されています。学校でも感染防止対策に努めたいと思います。ご家庭からのご協力も引き続きよろしくお願いいたします。

「コロナ禍に慣れて油断の頃なのか(コロナの禍)」

1月の主な行事予定

- 11日(火) 始業式
- 12日(水) 合同委員会
- 24日(月) 全校朝礼
- 31日(月) 招待給食